

読み  
仮名  
あり  
↓  
↓  
↓

【第3章】二ホンのブンカ系

5. 翻訳文化と日本語 (p.88)		
1	*	氾濫 はんらん ①事物があたりいっばいに出回ること。(※あまり好ましくない状態にいう。)②川の水などが増して勢いよくあふれ出ること。洪水になること。
14		概念 がいねん ①ある事物の概括的で大まかな意味内容。②事物が思考によって捉えられたり表現される時の思考内容や表象、またその言語表現の意味内容。
16	*	模範 もはん 見習うべきもの。手本。
21		ごく (数量・程度・回数などが少ない意を表す語に付いて)普通の程度をはるかに越えているさま。きわめて。非常に。
32		源流 げんりゅう ①物事の起こり。始まり。起源。②ある川のもととなる水の流れ。水源。
34		句読点 くとうてん 文につける句点[。]と読点[、] (とうてん)。ひとまとまりの文の最後に句点、文中に読みやすく正確な理解を助けるために読点をつける。
35		統語法 とうごほう 言語学で、単語など意味をもつ単位を組み合わせて文を作る文法的規則の総体。シンタックス。
41		自明 じめい 証明したり説明したりしなくても、すでにそれ自体ではっきりしていること。
45		優勢 ゆうせい 勢い・形勢などが他よりすぐれていること(さま)。
49		テキスト ①テキストと同じ。原文。本文。②文より上のレベルの言語的構成体。ふつう、形式的あるいは意味的につながりがあり、特定のコミュニケーション機能をもつ文の集合をいう。
49		がむしゃら 後先を考えないで強引に事をなすこと(さま)。
53		行き交う ゆき-か-う ①人や車などが往き来をする。通る。②親しい人と互いの家を行き来する。交際する。